

はこだて入退院支援連携ガイドを活用した研修会 アンケート集計結果 分析

n=41 (回収率 100%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・病院	19	(46.3%)
・診療所	1	(2.4%)
・訪問看護事業所	10	(24.4%)
・地域包括支援センター	5	(12.2%)
・居宅介護支援事業所	5	(12.2%)
・その他(介護老人保健施設)	1	(2.4%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・保健師	2	(4.9%)
・看護師	19	(46.3%)
・リハビリスタッフ	1	(2.4%)
・相談員	10	(24.4%)
・事務員	0	(0.0%)
・ケアマネジャー	9	(22.0%)
・その他	0	(0.0%)

3. 研修会を受講し、医療・介護関係者の相互理解は深まりましたか？

・深まった	40	(97.6%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・あまり深まらなかった	1	(2.4%)

【ご意見等】

- ・地域のフットワークのよさを認識できた。
- ・カンファレンスは形にこだわらず、入院後早期に在宅関係もチームに入ってもらえることが重要と再認識しました。
- ・お互いの考えや事情(そのように動く理由)が実際のエピソードと合わせて聞けたのでよかったです。
- ・病院側、地域側の多職種の意見が聞けて良かった。
- ・包括支援センターの職員、ケアマネジャーの方にもっと多く参加してもらった方が、在宅支援者サイドの話が聞けると思います。
- ・やはり、いろいろな視点を「生」で聞けることは非常にメリットがあることだと思いました。事例を深めながら他院、事業所の考え方もわかり、考え方だけではなく動き方も見えたので良かったです。
- ・大変学びになりました。
- ・他職種の方の意見を聞くことができ、参考になりました。
- ・医療機関側と在宅側双方の立場からの現状を聞くことができ、連携するうえでの大変さや調整の大切さをより実感することができた。
- ・立場が違うことで、それぞれの考え方、見方が違うという事が具体的にわかった。
- ・有意義な意見交換ができました。
- ・病院が欲しい情報とこちらの認識が少しずれていることが解りました。ふだん電話だけのやりとりでしたが、直接話ができ分かりやすかった。
- ・病院でのスクリーニングの実際の状況、取り組み方や認定看護師の活用、協力など、なるほど！という発見がたくさんありました。

- ・ケアマネとして思っていることや、このように考えて業務をしているということを伝えられた。
- ・バランス良い配分のメンバーだったので、「ああなるほどな」と思うような事もあり、相手の立場なども理解できました。
- ・スクリーニングのあれこれ、退院前カンファレンスは直前だけでなく、治療、退院までの方向性が見えたところで実施するとCMは動きやすい。
- ・深まった。(新たに認識ではなく、再認識ということ)
- ・スクリーニングは具体的な動きについて理解が深まった。
- ・病棟Ns、在宅Ns、介護職、ヘルパー、全てのサービス間でつながる研修会が必要かと思います。
- ・他の職種の見えていなかった動きや視点がわかり、良かったです。
- ・それぞれの立場での考え方、(支援が必要な方のスクリーニングどのように退院調整していくのかの流れなど)が理解できました。
- ・病院でほしい情報や在宅からもお願いしたいことなど話すことができた。
- ・職種や立場が異なるGWで視点が変わることの大切さを学びました。異なる視点から相互の理解が深まると感じます。
- ・時間が足りませんでした。
- ・それぞれの立場から情報をいただき、知らない事が知れて良かった。
- ・話しやすい人数でした。

4. ガイドを活用した研修会として今回の方法はどうか？

①グループワークの方法について

- ・病院と地域の実状を知ることができたので、職種割りも含めて良かったと思う。
- ・職種のバランスがとても良い。
- ・よかったです。
- ・入院前の情報作成背景が各事業所でも検討されていることがわかった。介護連携サマリーがあることで「連携をしよう」という意識が高まると感じた。
- ・一緒に作業をするというより、意見交換が中心となりましたが、7-8人規模で活発に話し合えたのは良かったです。
- ・事例の時間軸を活用しながら行われたので、よりイメージしやすく意見が出しやすかったと感じた。
- ・病院サイド、在宅支援事業者サイドの意見交換ができて良かったです。
- ・時系列に沿って進めることが出来てわかりやすかったです。医療機関側と在宅側に分けて記入する方法も、それぞれの立場が明確になり、良かったと思います。
- ・よかったですと思います。話に夢中になって、ガイドをみながら考えながらはできなかったです。
- ・模造紙があってわかりやすい。司会の方がスムーズに入ってくれて、進行できました。ガイドの「どこをみる」が参考になりました。
- ・リーダーが司会をしながら、ガイドを振りかえるような進め方だった為、とっても良かった。
- ・人数も適切で進めてくれる司会の方もいたため、スムーズに話の流れがあったと思います。
- ・多職種の方の意見を聞く事が出来たので、お互いの立場を理解し合えたと思います。今後このように関わっていくと良いんだなあと言うのがわかったので、良かったと思います。
- ・他職種の方の意見がきけておもしろかった。日頃思っただけでも病院側に遠慮をしている事が多々あるなど。お互いに気を遣わず話せる関係性が築けるよう、また研修会に参加したいです。
- ・良かったと思います。他病院の対応を聞き、当院はまだまだだ～と思った次第です。看護師としてです。
- ・ファシリテーターの方がよくリードしてくださって発言しやすかった。症例だけでなく一般的なこと、ケアマネがついている場合等の話もできて良かった。
- ・様々な立場での意見が聞けて良かった。それぞれの視点の違いを理解して互いに情報交換したり、連携していくことの重要さをあらためて感じた。ガイドを活用してみて細かい点を確認できた。(可視化できたことが特に良いと思った)

- ・司会の方が、しっかりと進行していただいたので発言もしやすかった。また、何について検討されているかもわかりやすかったので、進行役は重要な役割だと思う。
- ・医療と在宅のそれぞれの立場で話ができ良かった。
- ・職種ごとの視点やそれぞれの守備範囲からの意見が新鮮でした。
- ・ファシリテーターの進行が良くスムーズな流れで終わった。
- ・色々な考え方や進め方が聞けて良かった。
- ・司会の方が脱線しないようきってくれたので、やりやすかったです。(事例の内容ではなく、流れ)に着目。
- ・問題ないです。
- ・司会の方が、しっかりと進行していただいたので発言もしやすかった。また、何について検討されているかもわかりやすかったので、進行役は重要な役割だと思う。うまく進めてくださったので活用していかと思います。皆ざつばらんに話せたと感じました。
- ・在宅、病院と同人数なので、やりやすく流れもスムーズだったと思います。
- ・最初から紙に書かれていて時系列で見られるのでスムーズでした。
- ・初めから、司会等、役割が決まっていた時間短縮となった。経過表があつてわかりやすかった。
- ・他職種の方の話を聞くことが出来、参考になりました。
- ・多施設、専門分野の方の意見聞く事が出来、参考になりました。
- ・ガイドの活用という点では、あまり活用されてなかったですが、入院～退院への支援についての事例検討としては良かったと思います。
- ・事例を通じてGWすることでディスカッションしやすくなる。いろいろな事例を積み上げて。
- ・お互いの立場で場面場面での意見交換が出来てよかった。内部事情も含めて本音トークができた→これがお互いを理解するうえで大切だと思う。正直なところ、ガイドの活用…よく解りません(どの点が活用になっているのか)
- ・多職種で1つの事例とガイドの流れを確認できたことは良かったが、ガイド内容を、やはり把握していなければ、スタンダードがどうなのか見えにくかった。
- ・場面設定を分けて、グループワークも3つくらいに分けて振り返りもすると良かった。
- ・時系列でのディスカッションもいいのですが、時系列に落とし込むところからやらないと、事例の分岐点が見えず深く考えれないと思います。事前課題にして、自分でトラジェクトリに落とすことからやると、継続すべき事がクローズUPされて来ます。
- ・模造紙に書き込む方法は少しわかりにくかったです。
- ・事例検討に少し流されていきそうになるため、少し検討の仕方が難しかった。(事前に説明はうけましたが)
- ・人数的にちょうどよく、皆の意見が言えたと思う。どうしても、事例検討にいつてしまうので大変だった。各職種の思いをきくことができて良かった。事例によっては、もう少し職種を少なくして(各グループ)検討してみてもいいかも。
- ・ガイドはあまり活用してない。

②時間配分について

- ・ちょうど良い。(12件)
- ・良かった。(3件)
- ・ちょうど良かったです。(少し足りない位が、ちょうど良いのかと思います)
- ・意見をふくらませる時間もあつて良かった。
- ・長いと思ったが、実際には短かった。
- ・ちょうど良かった。あつという間でした。
- ・時間配分はこの事例では丁度いいと思う。
- ・案外、時間があつという間でした。ちょうど良かったです。
- ・集中して話げできました。ちょうど良かったです。
- ・実際に話をすると短く感じられましたが、丁度良いのかもしれない。

- ・あっという間に感じましたが、丁度良いと思います。
- ・60分GWがあり、余裕があり良かったと思う。
- ・ワークが盛り上がったので少し時間が足りなかったが、1時間くらいが丁度良かった。
- ・短かったです。
- ・全体としては足りないです。
- ・入院前、中、後と流れで話し合うことができ、時間はあっという間で足りないほどでした。
- ・最終的なまとめは、簡単にしかできなかった。各部門での意見交換なので、意見や質問も多く、時間が少ないように感じる。
- ・時間が足りなくなってしまう、退院時連携の部分にもう少し時間を使いたかった。
- ・GWは少したりなかった。
- ・もう少し、あと15～20分くらいあれば、もう少し深められたかも…あっという間でした。
- ・上記のようにワークを分けて行っても良かった。
- ・時間が不足かと。もし可能なら半日使うといいかなあ～。
- ・60' GWでポイントはおさえられたと思います。時系列で進めたのでわかりやすかった。
- ・充分勉強になりました。
- ・良かった。ラスト10分の前に30分経過のお知らせがあると良いと思うほど意見が多く出たと思います。

5. その他(こんなやり方の研修会もあるのでは等)、ご意見ありましたらお書きください。

- ・連携部門のみではなく、現場のスタッフも参加できるような取り組みがあると病院と地域の垣根を更に低くできると思います。形式は事例検討等。
- ・連携実務者だけではなく、現場のNsやリハビリスタッフにも参加して理解を深めたいと思いました。
- ・予定入院の場面に外来の時点からの情報共有の仕方(入院前からの共有方法検討)
- ・ガイドがもう少し周知できればいい。
- ・このくらいの規模で、また実施していただければぜひ参加させていただきたいです。
- ・連携するうえで病棟の意識を高めるためにも、カンファレンスというかたちだけではなく、情報交換、共有ができる場を作ることが、よりよい連携につながると思いました。
- ・実際に現場で働くスタッフ(病棟Ns)が参加できる形式のグループワーク等あれば良いと思います。
- ・施設と在宅(自宅)を分けて、事例あげて話し合ってもいいかもしれない。
- ・居宅のケアマネさんに多く参加いただいて話をききたかった。
- ・事例に固執しないように(片寄らないように)しなければならぬように配慮が必要かと思う。今日のやり方も悪くはない。
- ・また同じ形式で参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・みんなベテランだからできた研修会、という言葉に、それもそうかも…とも思いました。
- ・連携ガイドですが、包括に実習に来る看護学生さん相手に医療介護連携の話をする時に活用させてもらってます。
- ・病院内でも連携に課題あり。(病棟、外来Nsやセラピストも入るとよいのか?)
- ・今回のように普段の業務の中で感じている事が気楽に話し合える形式が良い。
- ・今後は、ヘルパーさん向け、施設、介護職と施設Nsも含めた研修が必要かと考えます。
- ・野中式事例検討会(多職種)。これは対象者理解アセスメントの視点ですが、おもしろいかとも思います。(2～3時間かかりますが)やってみたいです。
- ・「ガイドを活用して」というのは…。活用しながら話し合いを進めるとなると全く時間がたりません。
- ・事例を通して実際にサマリーをかいてみる。CMはここが書くのが大変なんだとか、ここまで網羅されたわかりやすいというのが、実感ができればよいのではないかと思います。
- ・グループワークは、入院前からのやりとりについて話し合ったが、実際の退院調整の報告は、退院時何をしたかだけだったので、もう少し、くわしい説明があっても良いと思った。
- ・研修の開始時間が早いので、冬場だと開始に間に合わないと思いました。
- ・いつもお疲れ様です。医療・介護連携支援センターの研修のおかげで、顔の見える繋がりが増えています。